

# 特別活動(小学校)

## 特別活動改訂の要点はどうなっているのか。

特別活動については、望ましい集団活動を通して豊かな人間性や社会性を育成する実践活動であるという基本的な性格や、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の四つの内容によって構成されることはこれまでどおりとした上で、改善の基本方針等を踏まえて、次のような改善を行った。

目標に関しては、次の3点について改善がなされた。

### 1 目標の改善

- 特別活動が、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる教育活動であることをより一層明確にするため、目標に「人間関係」を加えた。
- 道徳の改善を踏まえて、道徳実践の指導の充実を図る観点から「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」を加えた。
- 特別活動の目標を受けて、各活動・学校行事を通して育てたい態度や能力を目標として新たに示した。

### 2 各活動・学校行事の内容の改善

#### (1) 学級活動の改善

下線部が、重要な改善点である。

- 学級活動においては、学級活動を通して育てたい態度や能力について、新たに目標として示した。
- よりよい人間関係を築き、楽しい生活をつくるなど、自分たちの学級や学校の生活の充実と向上のために主体的に参画し、進んで話し合い、協力して実現しようとする自主的、実践的な態度の育成を重視した。
- 学級集団の育成上の課題や発達の課題に即した指導ができるようにするため、「第1学年及び第2学年」、「第3学年及び第4学年」、「第5学年及び第6学年」の低・中・高学年ごとに「内容」を示した。
- いずれの学年においても取り扱う内容を「共通事項」として示した。
- 活動内容(1)については、児童が協力してよりよい生活をつくる活動内容であることを明確にするため、「学級や学校の生活づくり」と改めた。特に、学校で行われる各種の集団による自発的、自治的な活動が一層効果的に行われるようにするため、「学校における多様な集団の生活の向上」を加えた。
- 活動内容「(2)日常生活や学習への適応及び健康安全」については、「勤労観」を養う観点から、「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」を加えた。また、「食育」の充実に資する観点から「学校給食と望ましい食習慣の形成」に「食育の観点を踏まえた」の文言を加えた。

#### (2) 児童会活動の改善

- 児童会活動においては、児童会活動を通して育てたい態度や能力を、新たに目標として示した。
- 年齢が異なる児童同士の間人間関係を築き、楽しい生活をつくるなど自分たちの学校生活の向上を目指して、進んで話し合い、協力して実現しようとする自主的、実践的な態度の育成を重視した。
- 内容を明確にし活動の充実を図るために、新たに「児童会の計画や運営」、「異年齢集団による交流」、「学校行事への協力」の内容を示した。

### (3) クラブ活動の改善

- クラブ活動においては、クラブ活動を通して育てたい態度や能力を、新たに目標として示した。
- 個性を伸ばし、異年齢の人間関係を築き、共通の興味・関心を追求する活動を楽しむなど、児童による自発的、自治的な活動を重視した。
- 内容を明確にして活動の充実を図るために、新たに「クラブの計画や運営」、「クラブを楽しむ活動」、「クラブの成果の発表」の内容を示した。

### (4) 学校行事の改善

- 学校行事においては、学校行事を通して育てたい態度や能力を新たに目標として示した。
- よりよい人間関係を築き、公共の精神を養い、社会性の育成を図ることを重視した。
- 学校行事の内容については、自然の中での集団宿泊体験や異年齢の交流などを含む多様な人々との交流体験、文化的な体験などを重視する観点から、遠足・集団宿泊的行事の内容に「自然の中での集団宿泊活動など」と「人間関係など」を加えた。
- 「学芸的行事」を「文化的行事」と改め、「文化や芸術に親しむ活動」を加えた。

## 3 指導計画の作成と内容の取扱いの改善

### 〔指導計画の作成〕

#### ● 全体計画及び年間指導計画の作成

- 各学校で作成すべき特別活動の指導計画については、「特別活動の全体計画」や「各活動・学校行事の年間指導計画」など各学校で作成すべき指導計画を示した。
- 指導計画作成に当たっては、「各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間などの指導との関連を図る」を加えた。

#### ● 道徳的実践の指導の充実

- 道徳的実践の指導の充実を図る観点から「(4)第1章総則の第1の2及び第3章道徳の第1に示す道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道徳の第2に示す内容について、特別活動の特質に応じて適切な指導をすること。」を加えた。

### 〔内容の取扱い〕

#### ● 集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動等の充実

- 学級活動、児童会活動、クラブ活動については、今日的な課題を踏まえ「よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちでまわりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動などを充実するよう工夫すること。」を加えた。

#### ● 発達の段階に応じた内容の重点化及び学級活動と道徳教育や学級経営等との関連

- 学級活動については、「学級、学校及び児童の実態、学級集団育成上の課題や発達の課題及び第3章道徳の第3の1の(3)に示す道徳教育の重点などを踏まえ、各学年段階において取り上げる指導内容の重点化を図るとともに、必要に応じて、内容間の関連や統合を図ったり、他の内容を加えたりすることができること。」が示された。
- 学級経営の充実と学級活動の指導との関連が深いことから、「学級経営の充実を図り、個々の児童についての理解を深め、児童との信頼関係を基礎に指導を行う」を加えた。

#### ● 「異年齢集団による交流」の充実と言語活動の充実

- 学校行事の実施に当たっての配慮事項として、「異年齢集団による交流」の充実を加えた。
- 言語活動を充実する観点から「体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。」を加えた。